

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第九十號

明治卅五年五月廿七日 和歌山縣

公文

○和歌山縣令第七十七號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年五月二十三日

和歌山縣知事 椿 蒸 一 郎

一 那賀郡田中村大字西大井

東 祇園社限

西 泉州往來限

南 田端彌三郎田端龜吉居宅前道限

北 岩城兵三郎居宅前道限



一 圓

○和歌山縣令第七十八號

稻苗代ニ害蟲發生シ及發生ノ虞アルニ依リ害蟲驅除豫防法第三條ニ基キ該作人ニ害蟲ノ驅除豫防ヲ命ス其期限ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一回 五月三十一日限リ

第二回 六月七日限リ

第三回 六月十四日限リ

第四回 六月二十一日限リ

第五回 六月二十八日限リ

害蟲驅除豫防法第三條後項ニ係ル執行ハ特ニ之ヲ所轄郡長ニ委任ス
本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十五年五月二十四日

和歌山縣知事 椿 基一 耶

○和歌山縣令第七十九號

炭疽發生ニ付左記ノ區域ヲ豫防線トシ牛馬羊豚ノ出入往來ヲ停止ス
本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年五月二十四日

和歌山縣知事 椿 壽一 郎

一 有田郡南廣村大字河ノ瀬字鹿ヶ瀬畔一圓

○和歌山縣訓令甲第二十七號

郡役所
町村役場

民有山林狀態調査ヲ要シ候條左ノ各項ニ依リ調査進送スヘシ
 一 町村役場ハ第一號様式ニ依リ町村内ノ有民山林(公有林、社寺林、)調査ヲ作成シ本年七月十五日限リ郡役所ヘ差出スヘシ
 二 郡役所ヘ前項ノ調査ヲ取纏メ之ヲ調査シ及第二號様式ニ依リ圖面ヲ調製シ共ニ八月十五日限リ當廳ニ差出スヘシ
 明治三十五年五月二十三日
 和歌山縣知事 橋 兼 一 郎

第一號様式

民有山林調査		何郡何町村
總		何町何反何畝何歩
内	何町何反何畝何歩	公有何箇所何町何反何歩 社寺有何箇所何町何反何歩 私有何箇所何町何反何歩
樹種別	ヒノキ何反何畝何歩、スギ何反何畝何歩、クニギ何町何反何畝何歩、ウマノカシ何町何反何畝何歩、雑木何町何反何畝何歩、草山何町何反何畝何歩、無立木(禿山、岩山)何反何畝何歩アリ	

縣報第九十號

明治三十五年五月廿七日

第三種郵便物認可 四

實行施業	<p>ヒノキハ普通何年ニ伐採シ跡地ハ直ニ苗ヲ補植ス(跡地ハ雜草等ヲ燒拂ヒ一年又ハ二年間ハ蕎麥、黍ノ類ヲ作付シタル後苗木ヲ補植ス)其他各種之ニ準ス ウマノカシ、雜木ハ普通何年ニ伐採ス草山ハ肥料(秣用)トシテ毎年何季節ニ刈取ル 本村ニ於テハ毎年春期草山ヲ燒クノ慣例アリ(或ハナシ)</p>
生産及供給	<p>何々ハ用材トシテ平均一ヶ年何百尺ノ材產シ此價格何千何百圓重ニ何港又ハ何川ヲ經テ何地方ニ輸出ス 何々ハ薪材トシ平均一箇年何百圓ヲ云々(前同) 何々ハ木炭ニ製造シ平均一箇年何百圓ヲ云々(前同) 松烟(椎茸)ハ平均一箇年何程ヲ產シ何地方ニ輸出ス其價額何千何百圓ニシテ一貫平均何圓ナリ</p>

備考

樹木ノ名稱ハ片假名ヲ以テ記載シ右傍ニ縦線ヲ書スヘシ
 (第二號様式ハ別ニ配付ス)

○和歌山縣訓令甲第二十八號

郡	役	所
警	察	署
警	察	分
市	役	所
町	村	役
縣	農	會
郡	農	會
町	村	農
	村	農
	村	農

目下稻苗代ニ各種害蟲發生ニ付害蟲驅除豫防法第三條ニ依リ今般縣令第七十八號ヲ以テ其
 害蟲驅除豫防令令候條郡市長警察官及町村長ハ適宜協議ヲ逐ク之ヲ監督シ各農會ハ方法手
 段ノ指導ニ努ムヘシ

害蟲驅除豫防法第三條後項ニ係ル執行ハ特ニ之ヲ郡長ニ委任セシメテ以テ郡長ニ於テ之カ執
 行ヲ爲シタルトキハ即時詳細報告スヘシ

明治三十五年五月二十四日

和歌山縣知事 椿 葉一 耶

○和歌山縣訓令甲第二十九號

郡 役 所
市 役 所

内務報告例ニ依リ報告事項左記之通り制定候條夫々期限愈ラス取調進達スヘシ

明治三十五年五月二十四日

和歌山縣知事 椿 恭 一 郎

一 國縣道新改築工事竣功 書式第一號

一 國縣道新改築工事歩通成功 全 第二號

一 國縣道道幅取擴工事竣功 全 第三號

一 軌道條例ニ依リ特許シタル諸會社營業ニ關スル事項 全 第四號

一 道路延長幅員及勾配 全 第五號

一 橋 梁 全 第六號

一 國庫補助ニ係ル河川港灣新改築工事竣功 全 第七號

一 軌道條例ニ依リ特許シタル命令條件ニ關シ處分シタル事項 日報書式無シ

(表式ハ別ニ願フ)

○和歌山縣告示第三百三十六號

農商務省京都醫業講習所ニ於テ本年九月五日ヨリ二十日間瘧病消毒法ノ講習ヲ開始シ講習生募集スル旨通知アリ企望ノ者ハ左記各項相心得出願スヘシ

明治三十五年五月二十二日

和歌山縣知事 椿 基一郎

- 一 講習所別科卒業生相當以上ノ學力ヲ有スルモノニ就キ選拔ス
- 二 講習生ハ本縣ニ於テハ一名ヲ採用ス
- 三 企望者ハ京都醫業講習所長宛ノ願書ニ履歷書相添ヘ所轄郡市役所ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

四 願書ハ六月三十日迄ニ當廳ニ着スヘキ様差出スヘシ

五 願書ハ二通當廳ニ差出スヘシ

六 企望者二名以上アルトキハ試験ノ上選拔スルコトアルヘシ

瘧病消毒法講習會規程

第一條 瘧病消毒法講習會ハ毎年一回東京々都兩縣業講習所内ニ之ヲ開ク

第二條 講習生ハ地方コアリテ羈業獎勵ノ局ニ當リ或ハ羈業ニ關係シ經驗ヲ有スルモノニシテ地方長官ノ選定シタル者トス

第三條 講習生ノ定員ハ各所五十名以内トシ府縣制管人員ハ東京京都羈業講習所長之ヲ定ム

第四條 講習期限ハ概ネ二十日間トシ八九月中ニ於テ之ヲ開ク

縣報第九十號

明治三十五年五月廿七日

第三種郵便物認可 七

第五條 消毒ニ要スル物品ハ之ヲ貸與スヘシト雖モ其他ハ惣テ講習生ノ自辨トス

第六條 講習課程左ノ如シ

- 一 瘧病論大意
- 一 微生物學大意
- 一 消毒藥品論
- 一 消毒法
- 一 消毒實習

第七條 始業ノ時日及其他講習ニ關スル事項ハ東京京都羈業講習所長之ヲ定ムルモノトス

○和歌山縣告示第三百三十七號

農事及林業改良ノ爲メ本縣農事巡回教師及林業巡回教師ヲ匠キ農事及林業ニ關スル講話又ハ講習等ヲ爲サシム

明治三十五年五月二十二日

和歌山縣知事 椿 基一郎

○和歌山縣告示第三百三十八號

東牟婁郡新宮町十九番地開業

產婆 政モト

右ノ者今般東牟婁郡那智村大字天滿百四十二番地ノ二南海療養院内ヘ開業地移轉ノ旨届出

ニ付本日産婆名簿ノ登録ヲ訂正ス

明治三十五年五月二十二日

和歌山縣知事 椿 基一郎

○和歌山縣告示第三百三十九號

本年三月當縣告示第七十六號中海軍兵學校生徒召集人員百五十名ヲ百八十名ニ改ム

明治三十五年五月二十二日

和歌山縣知事 椿 莙 一 郎

○和歌山縣告示第四百十號

來ル七月七日八日兩日和歌山縣廳内ニ於テ産婆試験ヲ舉行

明治三十五年五月二十二日

和歌山縣知事 椿 莙 一 郎

○和歌山縣告示第四百十一號

縣下那賀郡田中村大字西大井上田良吉飼牛一頭本月二十一日炭疽ニ罹リ斃死セリ

明治三十五年五月二十三日

和歌山縣知事 椿 莙 一 郎

○和歌山縣告示第四百十二號

縣下有田郡廣村大字河ノ瀬ニ於テ牝牛一頭本月二十二日炭疽ニ罹リ全日斃死セリ

明治三十五年五月二十四日

和歌山縣知事 椿 莙 一 郎

○町村長助役ノ異動

○和歌山縣指令内一第三〇三四號一

明治三十五年五月十七日宮第一八八號稟請大林吉太郎ヲ海草郡宮村長ニ選舉ノ件

右町村制第五十九條ニ依リ之ヲ認可ス

明治三十五年五月二十二日

○和歌山縣指令内一第三〇四三號一

明治三十五年五月六日稟請吉益匡賢ヲ那賀郡川原村助役ニ選舉ノ件

縣報第九十號

明治三十五年五月廿七日 第三種郵便物認可 八

右町村制第五十九條ニ依リ之ヲ認可ス

明治三十五年五月二十二日

○和歌山縣指令内一第二九五七號三

明治三十五年四月十二日稟請片山傳三郎ヲ那賀郡村宿村助役ニ選舉ノ件

右町村制第五十九條依リ之ヲ認可ス

明治三十五年五月二十四日

○和歌山縣指令内一第三〇七二號一

明治三十五年五月二十一日湯第一六二號一稟請久保瀨七ヲ有田郡湯淺町長ニ選舉ノ件

右町村制第五十九條ニ依リ之ヲ認可ス

明治三十五年五月二十四日

○觀 測

明治三十五年五月廿二日ニ三日間當地氣象概況

種	五月廿二日	五月廿三日	五月廿四日
平均氣壓	七百五十八兆四	七百五十四兆九	七百五十六兆七
平均氣温	二十度八	廿一度一	二十度二
最高氣温	二十五度七	廿三度四	廿三度八
最低氣温	十六度〇	十八度三	十五一度

縣報第九十號

明治三十五年五月廿七日

第三種郵便物認可

九終

最 多 風 向	平 均 風 力	天 氣	雨 雪 量	記 事
南西	三米四	曇天		午前九時十分海上不穩ノ警報到着
南東	一米八	曇天 ○耗○		午後〇時五十四分全一時十分迄降雨
北	五米四	晴天		午前八時五十二分海上不穩ノ警報少解

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十四日發行)

明治三十五年五月廿六日發行
明治三十五年五月廿七日發行

（郵便代價）
金一圓

和歌山縣

印刷所

和歌山市十二番丁十三番地
和歌山市十二番丁十三番地
和歌山郵便局